

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Gemcitabine-Cisplatin 療法による膀胱癌術前抗癌剤治療の有効性の検討- 術前抗癌剤の効果による予後予測-
	研究目的	限局性の筋層浸潤膀胱癌に対する標準治療は膀胱全摘ですが、術後一定の割合で再発される患者さんがおり、治療成績はまだ満足のいくものではありません。術後の治療成績向上のため、術前に抗がん剤を施行することが推奨されておりますが、その抗がん剤のレジメンには従来 M-VAC 療法が用いられておりました。近年、GC 治療による術前抗がん剤治療の有効性の報告が散見されますが、その有効性の報告は施設によって様々であり、一定の見解を得ておりません。 今回、当院において術前に GC 療法を行った患者さんで行わなかった患者さんの情報を集積し、その有効性・有害事象・予後について比較・検討を行い、術前 GC 治療について評価を行いたいと考えております。
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで 2009 年 4 月～2016 年 3 月までに膀胱癌に対して根治的膀胱全摘術を施行した患者さんを対象としております。個人情報 は匿名化され、厳重に保護された上でデータの集積が行われますが、研究 参加を辞退されたい患者さんがおられましたらお手数ですが下記担当ま でご連絡ください。
	研究期間	西 暦 2019 年 4 月 10 日 ～ 西 暦 2022 年 3 月 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター	泌尿器科 部長 岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	泌尿器科 梅本 晋 泌尿器科 逢坂 公人 泌尿器科 野口 剛 泌尿器科 堤 壮吾 泌尿器科 小林 幸太 泌尿器科 蓼沼 知之(現足柄上病院泌尿器科)
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	足柄上病院 泌尿器科 蓼沼 知之